

農の広場

登米市農業委員会だより

第37号

令和4年10月

農地利用状況調査研修会・委嘱状交付式



高橋会長から調査員へ委嘱状を交付



市内から80名が出席しました



研修会の様子



去年の経験を踏まえた質問が出ました

農地利用状況調査員委嘱状交付式および研修会が、7月13日に中田生涯学習センターにおいて開催されました。農地利用最適化推進委員が中心となって登米市内全域の農地を調査しました。調査農地は、118,930筆、面積にすると18,523haが対象で、農地パトロール（農用外利用調査）も同時に行いました。今回の調査をもとに、遊休農地の農地利用意向調査を12月に実施しますので、ご協力をお願いします。

担当 浅野委員

今号では各地区の農地利用最適化推進委員を紹介します

写真左から氏名(担当地区)



米山町では4名の農地利用最適化推進委員が、4地区に分かれて活動しています。地域の農業委員とともに、それぞれ地区の特色に合わせた地域密着の活動を心がけています。農地、農業の悩みは多岐に渡ります。どんな些細なことでも、まずは地元の委員へご相談ください。また、日頃の活動には地域の皆様のご協力が不可欠です。これからもご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

石堂貴博(中津山) 佐藤晃(善王寺)
鈴木一義(桜岡) 小林弘幸(西野)

米山



私たちは、農地利用の最適化を目指し、農地の集積・集団化を進めています。農地として利用していれば何も問題ありませんが、作付けしないで荒廃化したり、農用外利用(門口の通路等)をされたりしていないか、もう一度確認してください。指導、相談によって遊休農地等が解消している時は喜びが湧き、活動の充実を感じます。先祖伝来の農地を保全し、次世代につないでいきましょう！

門脇昭雄(佐沼・森) 東敬三(北方)
及川祐宏(新田) 田崎光雄(新田)
千葉久三男(北方)

迫



今年の農地利用状況調査では、令和4年7月16日に発生した大雨で、冠水被害を受けたほ場が多く見られ、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。推進委員の活動は、地域に密着した活動が多く、地域の皆様との意見交換を大事に活動しております。地域の農業の発展のため、これからも邁進してまいります。

中津川勝哉(東郷・西郷を除く)
近藤充(西郷) 亀井達夫(東郷)

南方



農業は地域経済の根幹として、人々の暮らしと命を支える重要な産業です。農業を維持発展させるには農地の確保と有効活用、そして担い手の確保と育成が必要です。私たちは農地利用最適化推進委員の活動として、農地パトロールや担い手農家とのマッチング活動などを通して地域の農地を守っていきます。

豊澤啓司(山通り)
佐々木武雄(鶉波3区・山通りを除く)
土井健一(鶉波3区)

豊里

農業者年金 ～しっかり積立て、がっちりサポート、安心で豊かな老後を～

- ☆ **農業に従事されている方は誰でも加入できます。**
60歳未満の国民年金第1号被保険者(国民年金保険料納付免除者を除く)であって、年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も加入できます。
- ☆ **保険料は自分で選べ、いつでも見直しができます。**
自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料を自由に決められ(月額2万～6万7千円の間で千円単位)、経営の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。
- ☆ **税制面で大きな優遇措置があります。**
支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税になります。
- ☆ **認定農業者など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助があります。**
認定農業者で青色申告をしている方やその方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助があります。

写真左から氏名(担当地区)



東和町錦織、米谷、米川の3地区の住民の皆様が生きて行くための大切な田んぼや畑の困りごと、気になることは私たち農地利用最適化推進委員にお気軽にご相談ください。皆様のお力になれるよう頑張りますのでよろしく申し上げます。

岩淵和也(米川) 小野寺伸光(錦織)
佐藤一志(米谷)

東和



農家のみなさんこんにちは。農地利用最適化推進委員の武田と北條です。今年も7月から9月まで農地利用状況調査を行いました。調査にあたっては、ご迷惑や不快な思いをさせてしまう場合があったかと思いますが、ご協力をいただきましたこと感謝申し上げます。

北條茂雄(日根牛を除く) 武田正男(日根牛)

登米



現在中田では6名の農地利用最適化推進委員が活動しています。主な業務は、農地利用状況調査をはじめ、貸し手・受け手探しや、新規就農者への斡旋、相談活動、農地売買、担い手農家への集積・集約です。農業委員や委員会と協力しながら活動しています。

橘実(浅水) 千葉博直(上沼) 佐々木尚(上沼)
佐々木喜朗(宝江) 佐藤啓(石森) 阿部秀明(石森)

中田



津山町は専業農家が少ないのが現状で、農地の引き受け手になる経営体の役割が一層重要となります。私たちは、遊休農地発生防止・解消の目的で、ほ場の巡回活動に努めています。併せて新規就農者への斡旋のため、空きハウス調査も実施しています。現場目線を基本に、担い手への集積など農地利用の最適化活動を進めてまいります。

白石久喜(柳津) 佐々木正志(横山)

津山



石越町内での調査は2名の推進委員が、各2~3名の調査員の協力のもと、耕作状況を調査、遊休農地(荒廃農地)となっているかどうかを確認しています。町内では、耕作者の高齢化や後継者の不在などによる耕作放棄地も存在しています。雑草の繁茂や病害虫の発生、有害鳥獣の繁殖などを防ぐため適切な管理をお願いします。

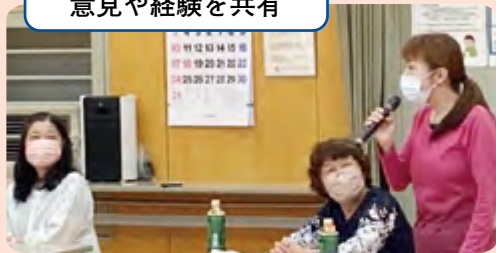
佐藤進(北部) 土生浩也(南部)

石越

農地・農業者年金等に関するご相談は、登米市農業委員会へお問い合わせ下さい。
登米市役所中田庁舎2階 ☎0220-34-2317 メールアドレス noui@city.tome.miyagi.jp

女性農業者との意見交換会

意見や経験を共有



農業者との意見交換会が7月22日、中田町上沼ふれあいセンターで開催されました。女性農業者を中心に開催するのは、今回が初めてです。「農業関係の会議は男性ばかりのものが多く、今日は仲間が多く気楽で楽しみ(笑)」と始まれば、旦那さんや子どもなど家族の話、近頃熱中していることなど、話題は活発に広がりました。「妻」や「母」、「娘」や「嫁」と場面によってさまざま役割を変える女性農業者としての苦労話には、皆が大きくなすきながら聞き入り、笑いの

絶えないお茶っこ飲みさながらの盛り上がりを見せました。その一方で、農政に対する厳しい意見や、自らの経験に基づいた後継者・人材育成についての提言など、想いのこもった議論が交わされました。

農業現場における女性の活躍は、今更ここで申し述べるまでもありません。しかしながら、各団体の役員会や会議などは、そのメンバーの多くを男性が占めているのが現状です。「奥さんにトラクターを覚えてもらおう!」「次の寄り合いには奥さんに出てもらって、俺が夕飯を準備してみるか!」改革とはとても身近なところから始まるのかもしれない。



意見交換を終えて

～参加した女性農業者へインタビュー～



岩淵芳子さん(東和町)

岩淵さんは、20年以上に渡り、グリーンツーリズム(農村民泊)として、全国の中高生を受け入れてきました。「観光農園ではなく本気農業だから!」と話し、田植えや稲刈りだけでなく、草刈りや草とりなど、リアルな農作業、農家の生き方を伝えます。交流の続く生徒から「農業関係の大学に決めた!」「登米市産と書いているものは必ず買う!」と報告があると、とてもうれしくなると語ります。「多感な10代の頃に経験するこの体験は、その後の人生をより豊かなものにする」と熱く語る岩淵さんの姿に、強い信念を感じました。



土井まきのさん(豊里町)

土井さんは夫の慶二さん、そして長女、次女と一緒に園芸作物を中心に栽培しています。高齢化や後継者問題に悩む農家が多い中、若い2人の娘さんが共に経営を支えています。「娘たちには、農業を継いで欲しいと思ったことも言ったこともない。2人とも農業をやりたいと言った時は本当に驚いた」と話してくれました。今では新たに始めたピーマンの栽培管理を任せるまでになっています。土井さんは、とてもパワフルな女性農業者ですが、その背中を追う娘さんたちの今後の活躍にも期待せずにはられません。

担当 櫻井委員

編集後記

今年、もっとも早い梅雨明けとなったとたん1時間に100ミリ、総雨量250ミリとなる、観測史上例のない記録的な大雨に見舞われました。そろそろ稲刈りも中盤になろうかと思えます。

水害にあつたほ場もあるかと思われませんが、収量等級はどうだったでしょうか。3月の地震、7月の大雨、世界情勢、コロナの感染拡大。あと3か月平穏な日常でありたいです。

菅原 浩之

編集委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 岩淵 勉 |
| 副委員長 | 櫻井 利光 |
| 委員 | 浅野 和宏 |
| | 尾張 勝 |
| | 佐々木まき子 |
| | 佐藤 瑛彦 |
| | 菅原 浩之 |
| | 鈴木 泰子 |

購読しませんか



全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門誌です。

週刊 金曜日発行
(原則月4回)
月700円、年8,400円
(消費税込)

申し込み・お問い合わせ先
登米市農業委員会事務局 ☎0220-34-2317
FAX番号 0220-34-2801